

2012年7月6日 全4頁

エコカー補助金の現状と見通し

予算切れは8月上旬から8月下旬となる見込み

経済調査部
齋藤勉

[要約]

- エコカー補助金による自動車販売が好調である反面で、補助金の予算切れが心配されている。2012年7月5日には、事業用自動車について申請が締め切られることとなった。
- 自家用自動車分の補助金申請金額の推移を見ると、4月の申請金額は平均して週200億円を超えていたが、その後は週100億円～140億円程度での推移が続いている。2012年6月29日時点での補助金残額は911億円であり、90万台程度がまだ申請可能である。
- 自家用自動車については、予算切れは早くも8月上旬、遅ければ8月下旬になると考えている。

エコカー補助金の現状

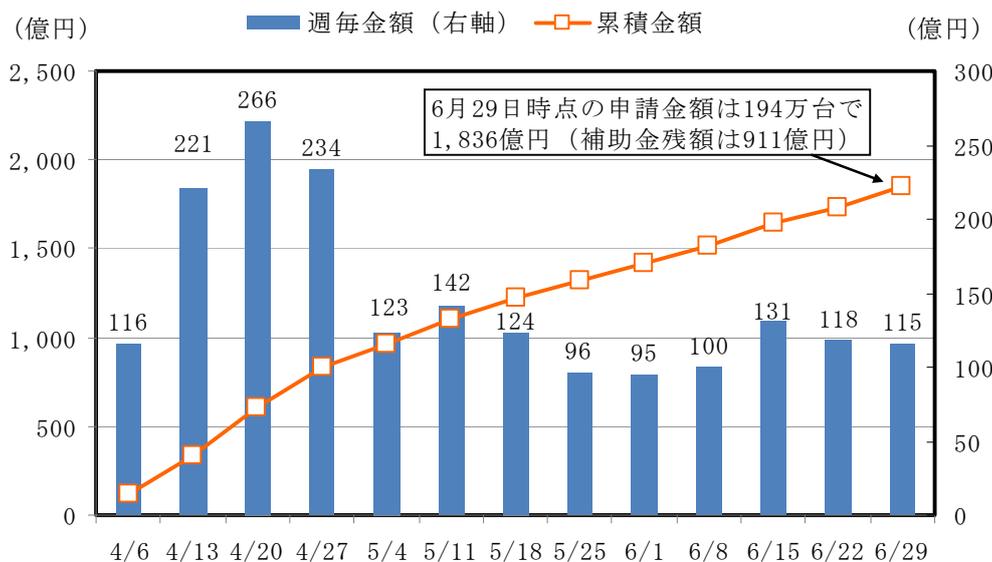
欧州債務問題を中心とする海外経済の動揺の中で、内需が堅調に推移している。その中心となるのが、東日本大震災からの復興需要と、2011年度第4次補正予算で再開されたエコカー補助金である。エコカー補助金により自動車販売台数は過去最高の水準での推移を続けており、2012年4-6月期のGDPを前期比寄与度で見ても0.1~0.2%pt押し上げたと見られる。一方で、前回のエコカー補助金が予算切れとなった際に大幅な反動減が生じたことなどから、予算切れによる景気への影響を懸念する声も大きい。2012年7月5日には事業用自動車の補助金申請が締め切られており、自家用自動車分の予算切れの時期がいつになるか注目されている¹。

エコカー補助金申請金額の推移

図表1にエコカー補助金の申請金額（自家用自動車）の推移を示した。これを見ると、4月の申請金額は平均で200億円と大きくなっているが、5月以降の申請金額は週100億円~140億円程度で推移していることがわかる。これは、補助金の対象が、第4次補正予算が閣議決定された2011年12月10日以降に登録された自動車であり、その後、4月までに登録された自動車がまとめて申請されたことによると考えられる。

また、2012年5月31日までに登録された自動車については6月29日までに申請を行うこととされているため、6月29日までの申請金額は少なくとも5月31日までの登録台数を反映している。

図表1 エコカー補助金申請金額(自家用自動車)の推移

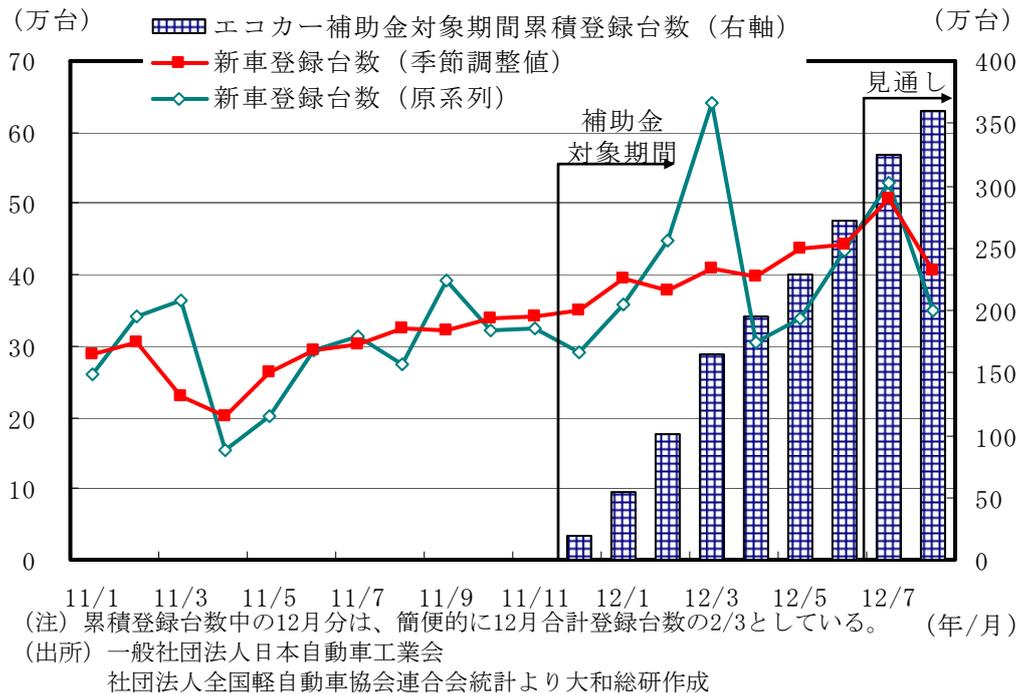


(注) 公表資料をもとに作成しているが、数字は週及して改訂されているため、(月/日)
実際の値と異なる可能性がある。

(出所) 一般社団法人 次世代自動車振興センター資料より大和総研作成

¹ 今回のエコカー補助金の予算は3,000億円であるが、用途別で予算額が決まっており、自家用自動車への補助が2,747億円、事業用自動車への補助が218億円となっている。また、事務費が35億円である。

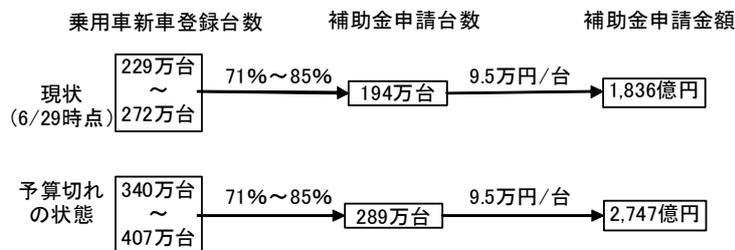
図表2 乗用車新車登録台数の推移



新車登録台数の推移を見ると、エコカー補助金が再開されて以降、2012年5月までの新車登録台数（軽自動車を含む乗用車合計²）は229万台、6月までの登録台数は272万台である³。6月29日までのエコカー補助金申請台数は194万台であるため、新車登録台数のうち71%~85%についてエコカー補助金が申請されているということがわかる。現実的には、6月29日までの登録台数のすべてが申請されているとは考えられないため、登録台数中の補助金申請割合は80%程度と考えている。

また、6月29日までの申請台数は194万台で申請金額が1,836億円であることから、1台あたりの平均補助金額が9.5万円であることもわかる。これらの数字から逆算すると、6月29日時点の補助金残額911億円に対して、90万台程度が補助可能である。また、7月の登録台数は、駆け込み需要を見込んでも50万台程度であると考えられる。7月末までの登録台数と登録台数中の補助金申請割合を考慮すると、7月末時点で補助金は30万台程度分残る計算である。

図表3 乗用車新車登録台数とエコカー補助金申請金額



(出所) 一般社団法人日本自動車工業会、社団法人全国軽自動車協会連合会
一般社団法人次世代自動車振興センター統計より大和総研作成

² 自家用自動車の補助対象には乗用車だけでなく貨物車やバス、トラックも含まれている。ただし、乗用車が申請金額の大部分を占めると考えられるため、ここでは乗用車の登録台数の推移を参考にすることにする。

³ 12月分は2/3がエコカー補助金対象期間の登録と想定している。

エコカー補助金の見通し

この他、自動車販売台数に関していくつかのシナリオを設定し、補助金の申請金額の推移をシミュレーションしたのが図表4である。シナリオ1では、急激な駆け込み需要を想定している。シナリオ2が基本想定であり、直近の申請のペースが続き、最後に駆け込み需要が生じると想定している。また、緩やかなペースでの申請が続くと想定したものがシナリオ3である。シミュレーション結果によれば、エコカー補助金の予算切れは、シナリオ1の場合で8月上旬、シナリオ3の場合で8月下旬になる見込みである。

図表4 エコカー補助金（自家用自動車）申請金額の見通し

